

# 競技力向上について

埼玉県高体連ホッケー専門部 皆野高校 藤井 靖士

## 1. 埼玉県におけるホッケーの現状

### ● 団体について

男子 ・飯能南高校 ・皆野高校 ・慶応義塾志木高校 ・聖望学園高校  
女子 ・飯能高校 ・皆野高校

### ● 大会について

・4月：関東大会1次予選 } 関東大会 → インターハイ  
・5月：学総体兼関東大会2次予選 }  
・8月：国体関東ブロック予選 → 国体  
・10月：新人戦 → 関東選抜 → 全国選抜

### ● 全国大会成績

・男子 … 25年度選抜大会 ベスト8（飯能南） 26年度全国高校総体 ベスト8（飯能南）  
24年度国体 ベスト8（選抜チーム）  
・女子 … 25年度全国高校総体 ベスト8（飯能） 26年度全国高校総体 ベスト4（飯能）

## 2. 競技力向上のために

- ①基本技術の習得      ドリブル、ストローク、レシーブ、タックル
- ②体力                      攻守の切り替えの早さ
- ③戦術理解                個人 ↔ グループ ↔ チーム
- ④ルールへの適応
- ⑤指導者育成              指導者講習会の実施
- ⑥競技の普及

## 3. まとめ

まず何よりも大切なことは、ホッケー競技の普及である。現在、県内のどの学校においても深刻な部員不足に悩まされている。この状況は全国的にもいえる事でどの学校も11人の選手を集めることが容易ではない。

飯能市においてはジュニアのクラブが活動しており、また数年前より市内の全中学校の体育の授業でホッケーを取り扱っているが、高校に進学して継続的に競技を続ける生徒は少ない。

そして、指導者の育成も急務である。県内5校の中で、ホッケー経験のある教員の指導者は1名であり、赴任してからホッケーを学ぶか、外部指導者に頼るところが大きい。

競技力の向上については高度なテクニック、高度な戦術理解、高い体力レベルが必要とされる競技特性なため、とにかく基本を大切にすることに重きを置くべきである。部員数が足りないため、高校に入学してすぐに4月から大会に参加せざるを得ない状況があり、そういった生徒に基本練習に重点を置けず、戦術的なことを教えなければならず、基礎がおろそかになりがちである。

埼玉県内には日本リーグに参加しているトップチームが2チームあり、全国的にもホッケーが盛んな県である。そのなかで中学、高校、大学、クラブチーム、実業団チームが連携を合せてホッケーを盛り上げていくことが重要であり、またそのことが競技力の向上につながるものとする。